

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 令和 6年 2月 26日

事業所名 sakura colette

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			十分な広さを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			人員配置基準を満たしています。	低年齢層や障害の特性を考慮し、指定基準以上の職員を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関スロープあり。室内バリアフリー。トイレ2か所には手すりを設置し、車イスが入れるよう十分な広さを確保しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定例会議を実施し、業務改善に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページおよび通知文にて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		実施に向け調整中。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修の機会を確保し、資質向上に努めています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				標準化ツール、インフォーマルアセスメントの双方から多面的な視点で状況把握を行っております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			月ごと、週ごとに異なる活動内容を企画しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用時間に応じて活動内容・時間の割合を配慮しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動および集団活動を組み合わせたプログラムを提供しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			○		可能な限り実施しています。口頭で説明できない場合は書面にて周知しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○		送迎時間の関係上、支援終了後の話し合いは困難。緊急性の高い事案はその日のうちに情報共有、支援の改善に努めています。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○					
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○					
関係機関や 保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達管理責任者および精通した職員が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			毎月、学校行事予定表を頂戴し、相違がないか確認しています。特別時間割等は直接担任と調整を図る等しています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					対象児童なし。受け入れる際には、必要に応じて主治医等と連携を図っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			相談支援事業所や保護者から必要な情報は得ており、且つ、現在の関係機関との連携に努めています。必要に応じて就学前の関係機関と連携が図れるようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			研修を通じて必要な知識を習得しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			地域交流の場(児童館等)へ出向く等、地域資源を活用した活動を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				送迎時または連絡帳やSNSで現状確認および抱えている課題等について情報共有、共通認識を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			必要に応じて行っています。 職員の資質向上に努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約時に説明をしています。事業所内にも一部内容を掲示しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			今後も親子活動を通じて保護者同士の交流の機会をつくり、連携が図れるよう工夫していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				即日対応、解決に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				ホームページのブログやSNSを活用し、情報発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○				鍵付き書庫にて個人情報を管理しています。写真掲載は予め保護者の同意を得ています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				障害特性に応じて伝え方を工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		地域の方が気軽に参加できる行事を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				SNSやホームページ等を活用し、情報を公開していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				書面はありませんが、契約の際に保護者から十分に聞き取りを行い、適切に対処しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				記録を残し、職員間の周知徹底を図っています。